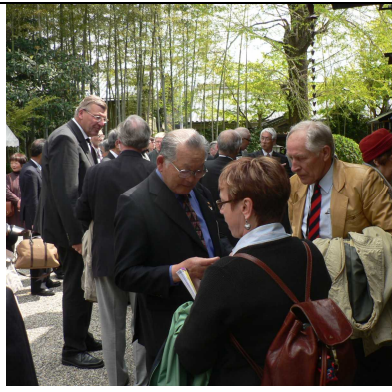


# Neues in Nara

Nr. 3 3.

2011年5月16日



Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会 (会長 河野良文)

奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

事務局:加納(Tel/Fax 0742-22-3636) 林([hayashi@mercury.sannet.ne.jp](mailto:hayashi@mercury.sannet.ne.jp))

“これは会員相互のコミュニケーションツールです。皆様からの情報は事務局へ”

## 行事予定

### 1. 平成23年度奈良日独協会年次総会

日時: 5月28日(土) 14:30~16:30

場所: 和ダイニング「花小路」

(近鉄奈良駅4番出口、小西通り南徒歩1分)  
詳細は別途郵送にて案内していますが、万障繰り合わせの上参加をお願いします。

## 行事報告

### 1. 日独交流150周年記念行事

日独交流150周年を記念し、4月23日~26日に奈良市で開催予定であった記念行事(主催:全国日独協会連合会、主管:奈良日独協会)は3月11日に発生した東日本大震災により、内容を大幅に変更し、

祝賀的色彩のある「記念式典・講演会」は中止し、大安寺で震災追悼法要を行う

「連合会総会」・「若手会員の集い」は当面延期とする

日独協会連合会の一行との「日独パートナー会議」のみを奈良にて行うこととなった。

### 1) 震災物故者の追悼と復興促進祈願

(大安寺、25日、14:00 - 15:00)

被災地の惨状に心を痛み、日本の友人を励ます為にも来日するという日独協会27名の意向もふまえ、日独双方連合会から約100名が大安寺に集合し(左上写真)共に震災でなくなられた方々を追悼し、被災者の安寧と早期の復興を祈る「祈願法要」が行われた。

参加者は、一人一灯のろうそくを献灯し、黙祷。導師を勤めた河野良文貫主(奈良日独協会会長)が読経する中、焼香して犠牲者の冥福と早期復興への祈りをささげた。



法要後、日独協会連合会のループレヒト・フォンドラン会長(右写真)が、ドイツ各地の日独協会で行ったチャリティーコンサートなどでの浄財や募金など計約10万ユーロ(約1200万円)の義援金目録を、全国日独協会連合会の木村敬三会長代行に手渡した。フォンドラン会長は「多くのドイツ人が東日本大震災の被災者を痛ましく思っている。大安寺で一緒に祈りの場を持てたことをとてもうれしく思っている。義援金の額としては少ないかもしれないが、ドイツと日本の緩まぬ友情の証という思いがこもっています」と述べた。



日独協会では、募金活動は継続中で日本円換算で億単位を超える義援金総額となる見込みで、更に震災孤児への里親プログラムも検討されている。

日独協会では、募金活動は継続中で日本円換算で億単位を超える義援金総額となる見込みで、更に震災孤児への里親プログラムも検討されている。



### 2) 日独パートナー会議(日独双方で70名出席)

(ホテル日航奈良、25日、15:30 - 17:30)

スタンツェル駐日ドイツ大使、荒井正吾奈良県知事の来賓挨拶に引き続き、2000年から始まった日独青少年交流プログラムの経過が報告され、今後共双方の重要課題とすることが確認された。更に日独双方で集められた義援金は、被災した東北の青少年に使うことで合意された。会議終了後、同ホテルで食事が開催された。

### 2. 「奈良日独協会の歩み」パネル展示

(4月17日(日)~5月8日(日)奈良県立図書館エントランスホール)

なぜ大安寺に協会があるのか、そして今もさまざまな活動を続けている協会のはじまりから現在までの足跡を写真で紹介した23枚のパネルを一般市民向けに展示した。

